

奈良県立商業高等学校 部局たまつえ

災害の軽減に向けて

日本は地震大国で近年では南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）が、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%と言われています。

災害への備えを考えると、「自助」「共助」「公助」の3つに分けることができます。

「自助」は、自分の身は自分で守ること

災害に備えて、備蓄や地域の災害リスクを知ることが大切です。

「共助」は、地域や身近にいる人どうしと一緒に取り組むこと

多くの人命が助かるためには、地域や身近にいる人同士の助け合いの力がとても大切になります。

「公助」は、国や地方公共団体などが取り組むこと

国や地方公共団体が行っている情報システムなどを活用することが大切です。



奈良県の災害

活動概要

最近では能登半島地震が起こり一層防災に対する意識が向上しています。アンケート調査によると災害に備えて備蓄している家庭の割合は7割（n=230）となっています。

ここで、私たちの学校がある桜井市は奈良県にあります。奈良県は自然災害の少ない「安全な場所」、というイメージが強いかもしれませんが、確かに奈良県は内陸県で、周囲を山で囲まれており、その地形の特性上強風は吹きにくく災害は少ないかもしれませんが、実際、奈良県民は「奈良県は安全な場所」と認識している人が多いかもしれません。しかし、平成23年に起こった紀伊半島大水害などの水害は多い県となっています。

そこで私たちは、災害軽減に向けて「自助」、「共助」、「公助」のテーマで様々な取り組みを行っています。

- ①自助 → 防災グッズの開発
- ②共助 → 地域のイベントでかまどベンチの紹介
- ③公助 → 桜井市役所の危機管理課と協力して防災教室の実施

私たちの災害軽減に向けての活動

①自助

「自分の身は自分で身を守る」という考えから防災グッズを地域のイベントで販売し、備える大切さを広めています。

ご家庭で、非常食、飲料水や日用品の備蓄は広がっています。しかし、在家中に災害が起きるとは限りません。実際は通勤通学中、運転中やショッピング中など様々なシチュエーションが想像されます。そこで私たちはシチュエーション別に防災グッズ11点セット（①ホイッスル ②口腔ケア ③エマージェンシーシート ④携帯トイレ ⑤カイロ ⑥ウエットティッシュ ⑦ポリ袋 ⑧はんそうこう ⑨生理用品 ⑩マスク ⑪容器）の「どこでもストック」を開発し販売しています。現在この商品はカバンに常備するタイプの小型のものと一緒に常備する水もたためれるケース付の2点を販売しています。さらに、この商品は災害時以外にふとした時に必要になる日用品を集めています。フェーズフリー商品として日常にも災害時にも役立つ商品になっています



②共助

地域の方々といざという時に協力できるように地域の桜井市立図書館でかまどベンチでいづちの炊き出しとトイレベンチを使った非常用トイレの使い方を実施しました。

かまどベンチは通常時はベンチとして使い災害時にはかまどというグッズです。通常の備え付けのものではなく移動しやすさを求め私たちが手作りしました。炊き出しのいづちも地元の桜井市の特産品であるそうめんを使いました。そうめんは長期保存に向いており、少量の水で短時間で調理可能でゆでた後の水も他の者に調理可能という点から非常食に向いています。トイレベンチは通常時はベンチとして使い災害時には移動式のトイレになるグッズです。携帯簡易トイレと一緒に展示し使い方のポスターや実践を行いました。



3つの連携が円滑なほど、災害の被害は軽減されるといわれています。

③公助

桜井市役所から災害時に非難所になる場所には様々な防災グッズが設置されています。しかし、災害時まで実際に体験する機会はほとんどないです。そのため、いざ避難所で使おうと思っても関係者以外の私たちでは使い方がわからずどうすることもできません。それを防ぐため、避難所に設置されているグッズと同じものを桜井市から借り受け、実際に自分の手で触り経験していただき、使い方を覚えていただく防災教室を実施しました。



今後の活動目標

自助：現在「どこでもストック」の商品は様々な店舗から既製品を仕入れています。それらに自分たちが作成したラベルを貼り、販売しています。将来的には地域の桜井市の企業の方に県立商業高校オリジナル商品を製作していただき、すべての商品を桜井市で製作したいと考えています。

その他にも現在は「カバンに常備」、「車に常備」の2種類ですがその他のシチュエーションに適したものを作っていきたく考えています。そして、この商品をたくさんの方に知っていただくために、「車に常備」にタイプは自動車販売会社や自動車を扱う会社や「カバンに常備」タイプは文房具店や日用品店などそれぞれのタイプに適した商品を取り扱っているお店での販売や紹介をしていただくことでもっと様々な人にも知ってもらい備える大切さを広げていきたいと思います。

共助：現在私たちが作ったかまどベンチは学校に設置されています。公園なら備え付けの頑丈な物などバリエーションを増やし災害時に活用されることと予想される箇所にもっと設置していきたく考えています。そして、年に数回その箇所で行く桜井市立図書館で行った炊き出しやかまどベンチの使い方講座を実施し、災害時に地域の皆が協力して乗り越えていけるような取り組みを今後も実施していきたく考えています。



奈良県立商業高等学校部局たまつえ

私たちは今まで防災対策として5年保存可能な防災備蓄バンの開発に取り組んできました。2024年1月1日に能登半島地震が発生し、あるニュースで「トイレの衛生環境が悪い」など食料以外の問題も数多く目にしました。そこで今度は日用品などふとした時に欲しいものを集めたシチュエーション別防災グッズ製作や防災炊き出しや防災教室など地域の人達と一緒に協力し減災に取り組めると考えこの活動を始めました。